

平成 29 年度活動方針

本年度は、これまでの事業の継続発展に加え、特に、国内での国際理解啓発事業の一層の充実を図る。

1 海外支援活動に関わる事業

(1) カンボジア教員研修交流事業（28 年度実施の運動会普及事業を含む）

助成先：モリコロ基金助成事業

対 象：バイヨン中学校、シェムリアップ州教員養成学校

事業費用：1, 0 4 6 千円（内モリコロ基金 7 5 0 千円）

内 容：カンボジアにおける教育活動支援は、これまで同様体育の授業を通して運動会演技・競技の指導をし、より質の高い第 3 回の運動会の実現を目指す。また、理科・音楽・家庭科に加え数学の授業モデルを提供していく予定である。また、国内においては、昨年度同様 4 名のカンボジア教員を招聘し、県内小中学校での実地研修を実施し、教員の指導力向上に向けて研修内容の充実を図っていく。

(2) アンコールクラウ地域環境保全事業（法人自費事業）

対 象：バイヨン中学校及び校区住民 事業費：2 0 0 千円

内 容：三井物産環境基金助成事業「淡水魚と環境保護」の実践を引き継ぎ発展させ、バイヨン中学校の生徒及地域住民の環境保全意識の高揚を図ることをめざす。特に、学区内の環境美化、トンレサップ湖の水辺の美化に関わるワークショップを実践する。

(3) バイヨン中学校電気エネルギー補充事業

助成先：蒲郡ライオンズクラブ・蒲郡国際交流協会

対 象：バイヨン中学校

事業費：3 0 0 千円（内蒲郡ライオンズクラブ 1 5 0 千円、蒲郡国際交流協会 5 0 千円）

内 容：開校当初本法人が支援設置した太陽光電力設備の補修・補充、加えて移動式発電機を導入して、井戸水汲み上げの動力化及び電気機器を使用して実践する教育活動の充実を目指す。

(4) カンボジア学校教育活動支援事業（参加者自費事業）

参加者：4 回の訪問（延人数 2 5 人）

対 象：バイヨン中学校、シェムリアップ州教員養成学校

事業費：2, 0 0 0 千円（航空運賃：25 人×8 万円、費用はすべて参加者持ち）

内 容：カンボジアへの定期訪問は、6 月・11 月・1 月・3 月とする。訪問時の活動内容は、上記 (1)(2)(3) である。

2 国内福祉・奉仕、国際理解啓発に関わる事業

(1) 多文化多様性交流事業（カンボジア交流 10 周年記念事業）

助成先：蒲郡市市民企画公募まちづくり助成事業

事業費：4 4 5 千円（内まちづくり助成 3 7 0 千円）

内 容：カンボジアに関わる人・物を位置づけた 5 交流事業、①カンボジア&市民交流会、②カンボジア子ども絵画展、③絵画展ギャラリートーク、④写真展、⑤外国暮らし体験交流会を実施し、幅広い年齢層からの市民参加を得て国際理解の推進を図る。

(2) マジック公演、講演等啓発事業

各団体・学校からの要請に随時応じる。特に形原公民館事業に関わりマジック少年の育成を図る。